



## 2026年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年2月13日

東

上場会社名 株式会社システムソフト

上場取引所

コード番号 7527

URL <https://www.systemsoft.co.jp/>

代表者(役職名) 代表取締役社長

(氏名) オンゴール・パヴァン

問合せ先責任者(役職名) 管理本部長

(氏名) 富田 保徳

(TEL) 092-732-1515

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2026年9月期第1四半期の連結業績(2025年10月1日~2025年12月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年9月期第1四半期	331	△16.6	△58	—	△58	—	△71	—
2025年9月期第1四半期	397	△36.2	△35	—	△35	—	94	—

(注) 包括利益 2026年9月期第1四半期 △64百万円( —%) 2025年9月期第1四半期 82百万円( —%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年9月期第1四半期	△0.85	—
2025年9月期第1四半期	1.12	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年9月期第1四半期	4,782	4,289	83.4
2025年9月期	4,869	4,354	83.3

(参考) 自己資本 2026年9月期第1四半期 3,990百万円 2025年9月期 4,054百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2026年9月期	—	—	—	—	—
2026年9月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2026年9月期の配当につきましては、現時点では未定としております。

## 3. 2026年9月期の連結業績予想(2025年10月1日~2026年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,800	31.1	50	—	40	—	22	—	0.26

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 有  
新規 2社(社名) 株式会社わさび、除外 1社(社名) 株式会社Green&Digital Partners

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年9月期1Q	84,834,140株	2025年9月期	84,834,140株
② 期末自己株式数	2026年9月期1Q	32,069株	2025年9月期	32,069株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2026年9月期1Q	84,802,071株	2025年9月期1Q	84,802,071株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況 .....	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(セグメント情報等の注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	10
(企業結合等関係) .....	11

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間（2025年10月1日～2025年12月31日）におけるわが国の経済は、関税問題の決着に伴う輸出の回復や各種物価高対策の効果、賃上げによる消費者心理の変化もあり、改善の動きが見られております。一方で、資源・原材料・エネルギー価格の高騰や円安に伴う輸入コストの増加が家計を引き続き圧迫しております。

さらに、物価高の長期化に加え、世界的なインフレを背景とした政策金利の引き上げや紛争の拡大等により海外景気が下振れするリスクが高まっており、国内経済への影響が懸念されるなど、先行きは依然として不透明な状況にあります。

当社グループが属する情報サービス産業においては、AIをはじめとするデジタル技術の進展・普及を背景に、企業の生産性向上や競争力強化を目的としたIT・DX関連サービスへの需要が引き続き高まっております。

一方で、慢性的な人材不足は一段と深刻化しており、エンジニアの確保と育成は業界全体の最重要課題となっています。採用競争の激化により必要な技術人材の確保が困難となる中、人材育成にかかる負荷や関連コストも増加しており、事業運営に大きな影響を及ぼす状況が続いております。

このように、需要拡大と人材確保・育成の難しさが併存する環境下において、持続的な事業基盤の強化が求められております。

このような事業環境のもと、当社は積極的な人材確保とエンジニア育成に注力し、システム開発分野全般の拡大とサービス価値の向上に取り組んでおります。

さらに、DX領域やRPAソリューション、オープンイノベーションの推進に加え、コンサルティング機能を強化し、新たな価値創造と企業価値の向上を目指しております。

また、前期よりM&Aを含めた事業構造の変革を進めるとともに、資産の見直しを含む体制の再構築を実施し、より筋肉質で持続的な成長が可能な経営基盤の確立に取り組んでおります。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は前年同期に比して66百万円（16.6%）減少し331百万円となりました。また、M&Aに伴う専門家報酬等を中心とする企業結合関連費用の発生に伴い販売費及び一般管理費が増加した結果、営業損失は58百万円（前年同期は営業損失35百万円）、経常損失は58百万円（前年同期は経常損失35百万円）となりました。

また、親会社株主に帰属する四半期純損失は71百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益94百万円）となりました。

セグメントごとの業績は、次のとおりであります。

#### ① テクノロジー事業

Web技術をベースとするシステム開発に強みを持ち、不動産分野、情報通信分野、生損保分野、教育分野等のお客様に対して長年にわたってシステム開発及びソリューションサービスの提供、賃貸不動産情報サイトの運営に加え、RPAソリューションサービス、SSクラウドシリーズを含めたSaaSの提供を行っております。

既存案件が堅調に推移したことにより、前年同期比では売上・利益ともに改善いたしました。また、10月1日付で新たに子会社に加わりました（「子会社の株式の取得の完了に関するお知らせ」）。これにより、グループ体制の強化が進み、今後の事業展開に向けた基盤を充実させ、収益基盤の強化を引き続き進めてまいります。

これらにより、テクノロジー事業の売上高は前年同期に比して93百万円（42.8%）増加し311百万円、セグメント利益は4百万円（前年同期はセグメント損失14百万円）となりました。

② オープンイノベーション事業

異業種・異分野が持つ技術やアイデア等を取り入れ、スタートアップ企業への事業立ち上げ等のコンサルティング、イノベーションの場の提供としてシェアオフィスの運営を行っております。

前期に実施した会社分割（簡易吸収分割）により事業の継承を実施したことにより、前年同期比では大幅な減収減益となりましたが、事業再編を通じて経営資源の最適化に向けた基盤づくりを進めてまいります。

これらにより、オープンイノベーション事業の売上高は前年同期に比して171百万円（95.0%）減少し9百万円、セグメント利益は前年同期に比して3百万円（86.0%）減少し0百万円となりました。

② その他事業

その他事業においては、投資事業を主軸とする運営を行っております。

これらにより、その他事業の売上高は11百万円、セグメント利益は10百万円となりました。

（2）当四半期連結累計期間の財政状態の概況

① 資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は前連結会計年度末に比べ800百万円減少し、3,617百万円となりました。これは主に、現金及び預金の減少1,094百万円、受取手形、売掛金及び契約資産の増加72百万円等によるものであります。

固定資産は前連結会計年度末に比べ714百万円増加し、1,165百万円となりました。これは主に、投資その他の資産の増加665百万円等によるものであります。

この結果、資産合計は前連結会計年度末に比べ86百万円減少し、4,782百万円となりました。

流動負債は前連結会計年度末に比べ1百万円減少し、451百万円となりました。これは主に、その他に含まれる未払消費税等の減少3百万円等によるものであります。

固定負債は前連結会計年度末に比べ21百万円減少し、41百万円となりました。これは主に、社債の減少20百万円等によるものであります。

この結果、負債合計は前連結会計年度末に比べ22百万円減少し、492百万円となりました。

純資産合計は前連結会計年度末に比べ64百万円減少し、4,289百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上による利益剰余金の減少71百万円等によるものであります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,242,881	2,148,537
受取手形、売掛金及び契約資産	625,070	697,425
仕掛品	93,150	93,828
その他	462,434	682,760
貸倒引当金	△5,397	△5,397
流動資産合計	4,418,138	3,617,155
固定資産		
有形固定資産		
工具、器具及び備品（純額）	0	152
有形固定資産合計	0	152
無形固定資産		
のれん	174,538	221,521
ソフトウェア	3,425	4,739
無形固定資産合計	177,963	226,260
投資その他の資産	273,309	938,920
固定資産合計	451,273	1,165,333
資産合計	4,869,411	4,782,488
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	202,873	123,017
未払法人税等	3,782	3,001
その他	246,210	325,375
流動負債合計	452,866	451,394
固定負債		
社債	40,000	20,000
長期借入金	1,174	—
長期末払金	17,731	17,731
資産除去債務	3,404	3,416
固定負債合計	62,309	41,148
負債合計	515,176	492,543

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,706,476	1,706,476
資本剰余金	3,542,739	3,543,601
利益剰余金	△1,174,071	△1,245,839
自己株式	△8,086	△8,086
株主資本合計	4,067,058	3,996,152
その他の包括利益累計額		
其他有価証券評価差額金	△12,898	△5,765
その他の包括利益累計額合計	△12,898	△5,765
新株予約権	291,828	291,828
非支配株主持分	8,246	7,729
純資産合計	4,354,235	4,289,945
負債純資産合計	4,869,411	4,782,488

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2024年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年10月1日 至 2025年12月31日)
売上高	397,392	331,336
売上原価	296,914	174,823
売上総利益	100,478	156,512
販売費及び一般管理費	135,767	214,843
営業損失(△)	△35,289	△58,330
営業外収益		
受取利息	—	22
受取配当金	468	1,604
助成金収入	406	—
消費税差額	—	2,626
業務受託収入	5,632	—
その他	1,377	970
営業外収益合計	7,884	5,223
営業外費用		
支払利息	786	50
支払手数料	5,115	4,230
為替差損	246	—
その他	2,408	1,480
営業外費用合計	8,557	5,761
経常損失(△)	△35,962	△58,868
特別利益		
投資有価証券売却益	134,473	16
特別利益合計	134,473	16
特別損失		
投資有価証券売却損	—	1
自己新株予約権消却損	—	4,703
特別損失合計	—	4,704
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	98,510	△63,556
法人税、住民税及び事業税	3,700	7,810
法人税等調整額	—	54
法人税等合計	3,700	7,865
四半期純利益又は四半期純損失(△)	94,810	△71,422
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△19	345
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	94,830	△71,768



## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2024年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年10月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	94,810	△71,422
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△12,033	7,133
その他の包括利益合計	△12,033	7,133
四半期包括利益	82,776	△64,289
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	82,796	△64,635
非支配株主に係る四半期包括利益	△19	345

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

## I 前第1四半期連結累計期間(自 2024年10月1日 至 2024年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	報告セグメント			合計
	テクノロジー 事業	オープン イノベーション 事業	計	
売上高				
外部顧客への売上高	217,762	179,629	397,392	397,392
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	499	499	499
計	217,762	180,129	397,892	397,892
セグメント利益又は 損失(△)	△14,640	4,580	△10,059	△10,059

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位: 千円)

利益	金額
報告セグメント計	397,892
セグメント間取引消去	△499
四半期連結損益計算書の売上高	397,392

(単位: 千円)

利益	金額
報告セグメント計	△10,059
全社費用(注)	△25,229
四半期連結損益計算書の営業利益	△35,289

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

## Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 2025年10月1日 至 2025年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	テクノロジー 事業	オープン イノベーション 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	311,022	9,064	320,086	11,250	331,336
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	311,022	9,064	320,086	11,250	331,336
セグメント利益又は 損失(△)	4,666	643	5,310	10,352	15,662

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、投資事業を含んでおります。

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	320,086
「その他」の区分の売上高	11,250
セグメント間取引消去	—
四半期連結損益計算書の売上高	331,336

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	5,310
「その他」の区分の利益	10,352
全社費用(注)	△73,992
四半期連結損益計算書の営業利益	△58,330

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

当第1四半期連結累計期間において、株式会社わさび及び株式会社Green&Digital Partnersを連結子会社化したことに伴い、「テクノロジー事業」においてのれんが発生しております。当該事象によるのれんの増加額は、54,121千円であります。なお、のれんの金額は取得原価の配分が完了していないため、暫定的に算定された金額であります。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2024年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年10月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	12,874千円	538千円
のれんの償却額	1,946 "	7,139 "

(企業結合等関係)

(取得による企業結合)

当社は、2025年9月18日の取締役会において、SES事業やDXコンサルティング事業等を営む事業会社2社の株式を取得することを決議し、2025年10月1日に子会社化いたしました。

#### 1. 企業結合の概要

##### (1) 被取得企業の名称及びその事業の内容

被取得企業の名称：株式会社わさび

株式会社Green&Digital Partners

事業の内容：SES事業、DXコンサルティング事業等

##### (2) 企業結合を行った主な理由

当社は、システム開発分野全般の拡大とサービス価値向上のため、従来のシステム開発事業との相乗効果が期待できる新たな事業展開を行うことを重要な経営課題としております。株式会社わさび及び株式会社Green&Digital Partnersは、創業以来、SES事業とDXコンサルティング事業を展開し、クライアントのビジネス変革を支援するDX・CXコンサルティングおよびシステム開発を強みとしています。2社の持つ強みは、当社グループが強みとしてきましたWeb技術をベースとするシステム開発およびソリューションサービスの提供に活かすことができ、当社グループの更なる企業価値向上のために資するものと判断いたしました。

##### (3) 企業結合日

2025年10月1日

##### (4) 企業結合の法的形式

現金を対価とする株式取得

##### (5) 結合後企業の名称

株式会社わさび

株式会社Green&Digital Partners

##### (6) 取得した議決権比率

100%

##### (7) 取得企業を決定するに至った主な根拠

当社が現金を対価として株式を取得したことによるものです。

#### 2. 四半期連結累計期間に係る四半期連結損益計算書に含まれている被取得企業の業績期間

2025年10月1日から2025年12月31日まで

#### 3. 被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

取得の対価	現金	230,000千円
取得原価		230,000千円

#### 4. 主要な取得関連費用の内容及び金額

アドバイザー費用等	31,408千円
-----------	----------

## 5. 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

## (1) 発生したのれんのご金額

54,121千円

なお、のれんのご金額は、当第1四半期連結会計期間末において取得原価の配分が完了していないため、暫定的に算定された金額であります。

## (2) 発生原因

今後の事業展開により期待される超過収益であります。

## (3) 償却方法及び償却期間

投資効果の発現する期間において均等償却する予定であります。なお償却期間については、現在算定中であります。

## 6. 企業結合日に受け入れた資産及び引き受けた負債の額並びにその主な内訳

流動資産	215,669	千円
固定資産	1,015	〃
資産合計	216,685	千円
流動負債	40,805	千円
固定負債	—	〃
負債合計	40,805	千円